



大曲地域で納豆やこんにやくなどの製造・販売をしているのがサン食品工業株式会社（柴田純子代表取締役）です。

同社は1910（明治43）年、大曲地域の大保地区（六郷西根）に柴田商店の名で創業しました。1981（昭和56）年に社名をサン食品工業株式会社に変更し現在に至っています。

同社が作る納豆はその地名から「大保納豆」と呼ばれ、平安時代後期に陸奥・出羽現在の東北地方）で起きた後三年の合戦の際に、軍用馬の飼料として用意された煮豆を、わらで作った俵に入れて運んだのが始まりと言い伝えられています。



ふっくらおいしい「大保納豆」

サン食品工業株式会社〔大曲〕

業種／納豆、こんにやくなどの製造・販売

従業員数／10人

★今回の案内人は取締役専務の柴田さんです。

同社の主力製品は「手作り大保納豆（つぶ）」。大粒で甘みのある北海道産の高級大豆「鶴の子大豆」を材料に、やわらかくふっくらと仕上げられた納豆で、噛みしめるほど口いっぱい豊かな香りと甘みが広がります。2008（平成20）年には、同製品が、納豆の味・色・形・香り・糸引きの5項目が審査される全国納豆鑑評会で高い評価を得て、農林水産省総合食料局長賞を受賞しました。

現在、インターネット通販向けの新しい商品開発に取り組んでいる同社。「幅広い年代の皆さんに当社の納豆を味わってもらえるように工夫を続けたい」と柴田取締役は抱負を語りました。